

## 平成 28 年度 第 1 回 長野市立博物館協議会 議事録

日 時 平成 28 年 5 月 27 日(金) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分

場 所 長野市立博物館教室

出席委員 立岩会長・宮下副会長・相澤委員・倉石委員・東福寺委員・南澤委員・山口委員

### 1 開会

### 2 館長あいさつ

### 3 協議事項(司会 立岩会長)

#### (1) 平成 27 年度事業報告について(原田係長)

(立岩会長)「ミュゼ蔵について、ギャラリー利用は多いとあるが、廃止してもよいのか。」

(大蔵館長)「平成 22 年の合併の時、長野市としては廃止の予定だったが、信州新町は、「契約期間中であるので、期間満了まで継続してほしい」という強い要望があり、継続となった。今まで地元懇談会を重ねる中でミュゼ蔵の廃止についても協議し、おおむね長野市の意向を理解していただいた。

契約期間満了は、11 月末日であるが、地元の要望もあり、平成 28 年度末までとした。貸主とも話し合いを行い、了解をいただいた。後利用に関しては、貸主と地元で考えてもらい、行政(支所が窓口)も相談にのる。」

(立岩会長)「根回しはして、合意はとれているということか。」

#### (2) 平成 28 年度事業計画について(原田係長)

(立岩会長)「平成 27 年度から 28 年度に入って、特別力を入れたことはあるか。大体同じような感じか。」

(原田係長)「平成 27 年度は、平成 28 年度の展示にあわせて調査を行った。展示でみていただくが、今まで出てこなかった仏像などを調査し、出すことができた。秋に関しては、真田はどこでもやっているのもそれ以外を、ということで、仙石氏などをやる。」

(宮下副会長)「信州新町化石博物館の企画展のタイトルに『化石たち』を使った意図は。」

(畠山係長)「化石にも、貝など色々ある。『たち』という言葉を使ったのは、化石という硬いイメージがあるので、イメージを和らげたかったため。ここをわざわざ訪れる人は、親子連れが中心で、小さい子どもが多いため、親しみやすくしたい。」

(相澤委員)「企画展を色々やっていただいているが、地域とどうつなげるか。前回の協議

会では地元と協力したいという意向だったので、一年間ここの企画展を地域に紹介したら、行ってみようという人がいた。幟旗を自治協（住民自治協議会）で作って立てたところ、直売所（公園内売店）で会った人で新しく友の会に入ったという人が1人いた。作新大学で原田学芸員に講演を行っていたら、友の会に入会した人が2人いた。こちら（地元）がやりたいと言ったことに対し、対応してくれたためにできたことで、これからの可能性だと思う。去年、博物館まつりで軽トラ市をやったが、今年もお願いしたい。さらに、敬老の日に地元の敬老会に利用できないかと区長会に提案したら、是非ということなので、お許しいただければやりたい。また、テントや舞台装置などを自治協で用意できたので、文化の日にそれを利用して、外で講演などをしてはどうか。地元の人で博物館を利用させていただきたい、連携をしたい、という意向が地域で出ているので、お許しいただければお願いしたい。」

（大蔵館長）「ありがたい。相澤さんには、パイプ役をしていただいている。ご相談いただければ、こちらも是非お願いしたい。それに関して、市では『地域きらめき隊』というものができた。地域に出て、地域の活性化をすすめる職員で、支所長補佐が任命され、更北でも進んでいる。そこに博物館も入れていただいているので、これからもよろしくお願いしたい。」

（立岩会長）「そういったものは、どんどん出していただきたい。博物館の職員もしり込みせずに、積極的にお願いしたい。」

## 5 閉会

終了後、企画展「川中島を行きかった武将たち」を見学。